

平成17年度地域文化演習・地域文化調査法・地域環境演習・地域環境調査法・巡検の調査地域一覧

地域文化演習

記号	教員	調査地域	期間	内容	曜日・時限
E	小田匡保	山梨県早川町赤沢宿(他に学生の希望がなければ)	10月または11月(3泊4日)	前期:文献講読 後期:町並み保存と観光についての現地調査とレポート作成	水・5
F	佐藤哲夫	都内および周辺のにぎわいのあるまち(例えば麻布十番、自由ヶ丘、元町・中華街など)	土・日・休日を利用した日帰り巡検を何回か行う。期日は受講者と相談して決める。	商業地区のにぎわいと街並みを構成する建築物や建築環境との関わりについて、学際的にアプローチする。	火・3

地域文化調査法

A	須山 聡	鹿児島県奄美大島	7月上旬を予定(4泊5日)	集落・生業・景観・土地利用・交通・観光・宗教・歴史などをテーマとした地域調査。3～4人程度のグループを単位とし、各自が設定した課題に基づいて調査計画の立案・現地調査・報告書の作成を行う。	金・5
B	高橋健太郎	熊本県小国町	9月を予定(4泊5日)	農山村地域の生活と産業、地域づくり	金・3
C	土谷敏治	岡山市、松山市、高知市、鹿児島市、高岡市、富山市などの中から受講者の希望を聞きながら決定する	10月11日～10月14日(3泊4日)	都市の公共交通と都市構造	火・5
E	橋詰直道	広島県尾道市	7月3日～7月7日(4泊5日)	テーマ「地方都市の機能と自立」現地では班別調査、調査報告書の作成、調査報告会を実施する、授業出席重視	月・5

巡検

B	櫻井明久	大田原市とその周辺	10月31日～11月2日(2泊3日)	野外観察の方法と野外調査の概略を学ぶ。まず、大田原市周辺農村・農業と田舎町についての調査を計画し、野外観察方法を学び、調査方法についての実習を行う。その結果をレポートにまとめるとともに、可能であれば、応用で、1,2時間程度の巡検を1,2度東京近郊で試みたい。	水・5(後期)
C	小池一之	那須野が原～会津盆地	6月22日～6月24日(2泊3日)	高原・那須火山群の活動と山麓の地形	水・5(前期)

地域環境演習

E	田中 靖	関東周辺の2～3ヶ所、相談によって決める	日帰り～1泊程度、未定	キーワード:坂、火山、段丘、崩壊、活断層、テフラ、組織地形	月・3
F	長沼信夫	伊豆半島北部地域	6月2日～6月4日(2泊3日)	火山・断層・海岸などの地形、漁業、観光などの現状等	火・3

地域環境調査法

A	江口 卓	鹿児島県屋久島	10月下旬(3泊4日)	屋久島の気候・植生調査ならびに環境問題に関する聞き取り調査	水・3
C	高木正博	熊本県阿蘇カルデラ内	6月21日～6月25日(4泊5日)	白川上流域における湧水調査とその利用について 高森町、南阿蘇村における湧水の測水調査(水量・水質など) 生活用水としての湧水利用調査	金・5
E	早船元峰	北海道中央部	未定(3泊4日)	自然と人間とのかかわりあい 自然班・土地利用(農業)班・グリーンツーリズム班に分かれ行動する	木・4